

千代田区環境配慮行動の 普及啓発キャンペーン

気候変動による将来世代への大きな悪影響

- 2100年には**酷暑**や**気象災害**がさらに深刻化
- 気温上昇に伴う海面上昇で、低地（東京東部など）の水没や、全国のほとんどの**砂浜が消失**する恐れ
- 100年に1回の極端な高温が99回に！

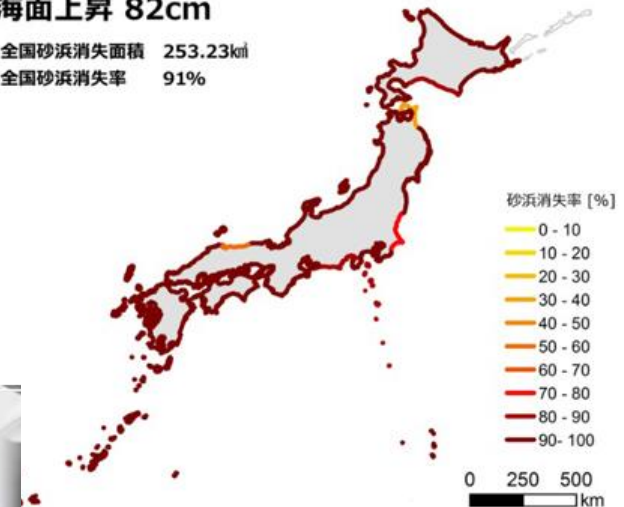
日本の気候変動2025（気象庁）より

環境省「2100年 未来の天気予報」：<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/2100weather/>



海面上昇 82cm

全国砂浜消失面積 253.23km²
全国砂浜消失率 91%



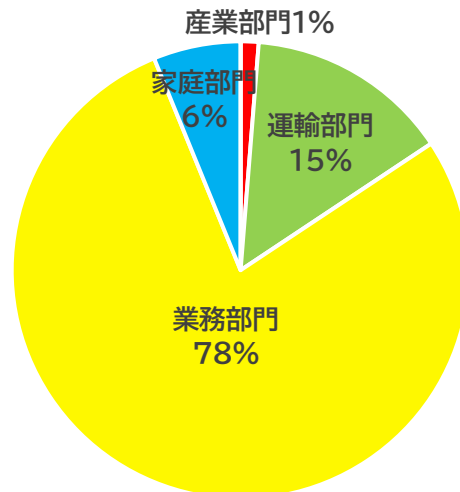
(出典：有働・武田，2014)

千代田区の状況

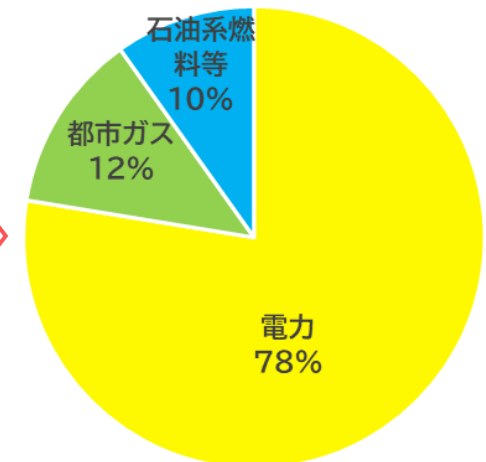
- 2050年ゼロカーボン・ゼロウェイスト、2030年ネイチャーポジティブ
- 人口約7万、昼間人口約90万人。大企業本社も多い。
- 区が率先行動し、住民や企業、通勤・通学者の行動変容を促したい。
- **業務部門や電力消費**により排出されるCO₂への対策が特に重要！
- **脱炭素、ネイチャーポジティブ**及び**循環経済**の統合的実現に積極的に取り組み。

千代田区

CO₂排出量 部門別内訳



CO₂排出量 エネルギー源別内訳



環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

- 環境問題への意識を高め、**行動変容**を促すことを目的。
- 個人向けと事業者向けの宣言を創設。
- 千代田エコシステム推進協議会と区が共同で実施。
- 区内主要企業、町会、大学、NPO、団体などと連携。

全体像

対象		事業内容
個人 (区内在住・在勤・在学者)		「 ちよエコヒーロー宣言 」の普及
区内事業者	主に中小企業	「 ちよエコ未来企業／ちよエコ未来事業者宣言 」の普及
	全体	「千代田エコシステム」はじめ環境マネジメントシステムの普及

環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

宣言制度

個人向け

ちよエコヒーロー宣言

区内在住・在勤・在学者対象

- 区ポータルや専用フォーム上で宣言を登録。
- 宣言内容：次ページの宣言の項目からできることを **7つ以上登録し、実践**。
- 登録特典：
 - ・ メルマガの定期配布（区主催及び民間や日比谷公園等のイベント情報等）
 - ・ 区等のイベントへの優先参加権
（外濠見学会、高山市・孺恋村ツアー、子ども向け生きもの講座、外来生物体験学習、自然観察会等）
 - ・ 宣言ロゴを使用可能



環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

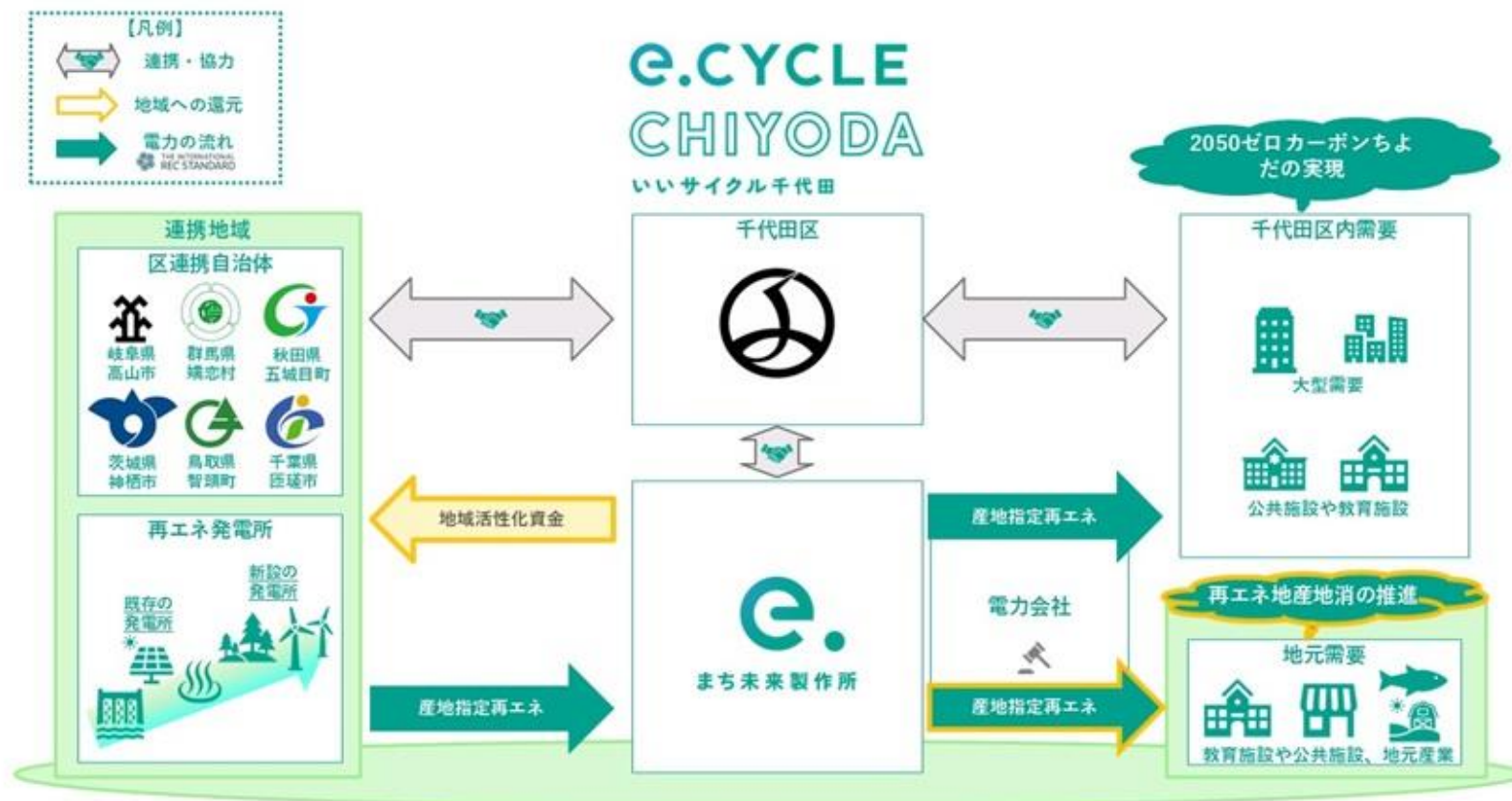
個人向け宣言

千代田区が掲げる2050年ゼロカーボン及びゼロ・ウェイスト、2030年ネイチャーポジティブの実現に向けて、以下の行動の中から選択した項目（7つ以上）について、自主的かつ積極的に行うことを宣言します。

1. 電気を再生可能エネルギー由来のものに切り替えます。
2. 二重窓などの断熱改修、屋根置き太陽光発電設置や照明のLED化を検討・実施します。
3. エシカル消費（環境・人・社会に配慮した製品・サービスを消費すること）を行います。
4. 物を大切に使い、ごみを減らし、分別を徹底します。生ごみは極力減らし、水切りをします。
5. 食品ロスを極力なくします（食べ残しをしない：飲食店での食べ残しは（mottECOなど）で持ち帰る、残すほど買わない、賞味期限に近いものを買う：手前どり等）。
6. 使い捨てプラスチックは使わず、マイバッグ・マイボトルを携帯します（mymizuアプリの利用等）。
7. 衣服は廃棄せず、リユース・リサイクルを行います。
8. 紙使用を控え、ペーパーレス化します。
9. 徒歩や自転車、公共交通機関を優先的に利用します。運転時はエコドライブします。
10. テレワークやオンライン会議などを活用し、移動に伴う時間やエネルギーを効率化します。
11. クールビズ・ウォームビズを実践します。
12. 自然ふれあいイベントに参加し、自然を守ることにつながる上記行動を実施します。
13. この取組みをほかの区在住・在勤・在学者にも勧めます。

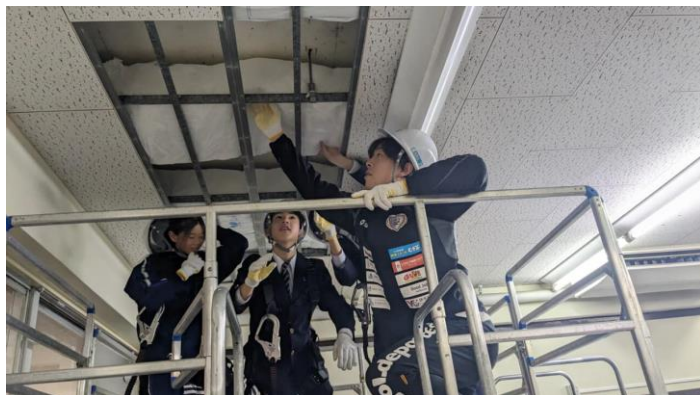
再エネ電気への切り替え（項目1）

- **Eサイクルちよだ**により、連携自治体の再エネを区内企業にお届け。
- 電力会社間の競り下げにより、リーズナブルな電気料金に。
- 再エネ立地地域にも**地域活性化資金**による経済的メリットあり。



二重窓の設置 (項目2)

- 冬の寒さの6割、夏の暑さの7割は窓が原因。
- 内窓の設置により大幅に断熱性能アップ。快適性に加え、省エネ効果も。
- ヒートショックによる死者は年間約2万人（交通事故死の約7倍）。



食品ロス (項目5)

- 日本の食料自給率は38%なのに、食品の4割を廃棄。
(全国民が毎日お茶碗1杯分捨てている)
- 日本の食品ロスは国連の食糧支援の量よりも多い。



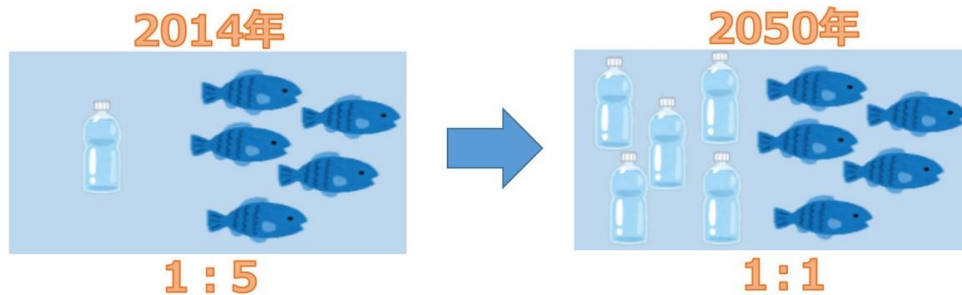
プラスチック、ファッション (項目6,7)

世界のプラスチック問題



● 海の中は魚よりプラスチックが多くなる？

- ・このままプラスチックを使い続けると、2050年には海は魚よりプラスチックの方が多くなると言われています



<https://global.kyocera.com/sustainability/eco/group.html>

あなたもプラスチックを食べています。

1 WEEK で
クレジットカード
1枚分を。

プラスチックの小さなかけらは食べ物にも、水にも空気にも入り込んでいます。どれだけ食べているかを計測してみませんか？

YOUR PLASTIC DIET

<https://yourplasticdiet.org/jp/>



#SUSTAINABLEFASHION

1年間1回も着られていない服が
一人あたり35枚もあります。



循環型ファッションの推進には
家庭にしまい込まれている
服の活用が課題です。



- ◆ 大型トラック120台分の服が毎日ゴミとして捨てられている。1/3しかリユース・リサイクルされていない。
- ◆ 90年と比べ衣服の購入量は横ばいだが、供給量は1.8倍の年間36億着。98%が輸入。

循環経済 (項目4～8)

■ 千代田区一般廃棄物処理基本計画の改定

- 2050年ゼロ・ウェイストを目標に設定。
- 食品ロス (mottECO)、プラスチック(mymizu)、ファッション (PASSTO)を重点に対策。民間の取組みとの連携を構築。

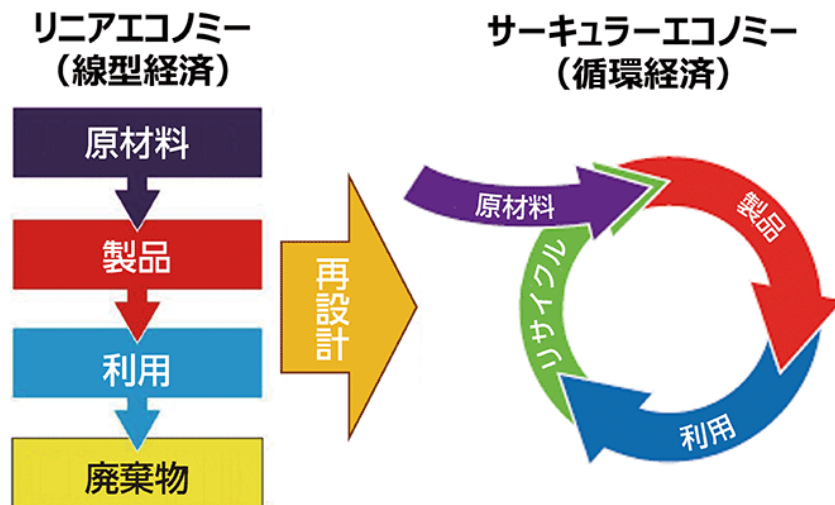
■ 循環経済はゼロカーボンにもネイチャーポジティブにも効く。

～世界資源パネル報告書によれば、天然資源の採掘と加工が温室効果ガスの約6割、生物多様性の損失と水ストレスの約9割の原因となっている～



給水で持続可能な街へ

図2-2-1 サークュラーエコノミー



※限りある資源の効率的な利用等により世界で約 500 兆円の経済効果があるとされている成長市場 (出典: Accenture Strategy 2015)



ネイチャーポジティブ（項目3,12）

- 皇居を中心としたエコロジカルネットワーク：千代田区エコスポット
- 身近な自然体験から購買行動変容を起こし、ネイチャーポジティブ（自然を回復させる世界目標）につなげる。

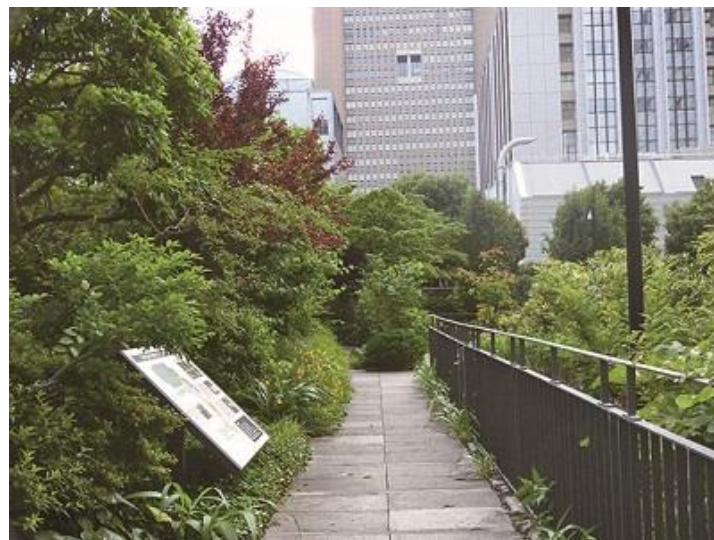


2.ホトリア広場

富士見・水道橋・神保町エリア 30～35



4.大手町の森



24.三井住友海上
駿河台ビル屋上庭園

38.東京ガーデンテラス
紀尾井町光の森



環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

宣言制度

事業者向け

ちよエコ未来企業宣言／ちよエコ未来事業者宣言

区内事業者（企業、団体、町会、教育機関、官公庁等）

- 専用フォーム上で宣言を登録。
- 宣言内容：次ページの宣言の項目からできることを **9つ以上登録し、実践。**
- 登録特典：
 - ・ ホームページに宣言した事業者をリストにして掲載
 - ・ メルマガの定期配布（区の環境関連補助金やEサイクルちよだ等の情報）
 - ・ 宣言したことを証する宣言書の交付
 - ・ 宣言ロゴを使用可能



環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

事業者向け宣言

千代田区が掲げる2050年ゼロカーボン及びゼロ・ウェイスト、2030年ネイチャーポジティブの実現に向けて、以下の行動の中から選択した項目（9つ以上）について、自主的かつ積極的に行うことを宣言します。

1. 電気を再生可能エネルギー由来のものに切り替えます（Eサイクルちよだの利用等）。
2. 二重窓などの断熱改修、屋根置き太陽光発電設置や照明のLED化を実施します。
3. エシカル消費（環境・人・社会に配慮した製品・サービスを消費すること）を行います。
4. 物を大切に使い、ごみを減らし、分別を徹底します。生ごみは極力減らし、水切りをします。
5. 食品ロスを極力なくします（食べ残しをしない：飲食店では食べ残しは（mottECOなど）を導入する、小売店では残すほど買わないことや、賞味期限に近いものを買う：手前どり等を推奨する）。
6. 使い捨てプラスチックは使わず、マイバッグ・マイボトルを携帯します。（mymizuアプリの利用等）
7. 衣服は廃棄せず、リユース・リサイクルを行います。
8. 紙使用を控え、ペーパーレス化します。
9. 徒歩や自転車、公共交通機関を優先的に利用します。運転時はエコドライブします。
10. テレワークやオンライン会議などを活用し、移動に伴う時間やエネルギーを効率化します。
11. クールビズ・ウォームビズを実践します。
12. 自然ふれあいイベントに参加し、自然を守ることにつながる上記行動を実施します。
13. 省エネ診断を受診し、省エネ設備・高効率機器を導入します。
14. エネルギー消費量を記録し、CO₂排出量を把握します。
15. 千代田エコシステム、ISO14001、エコアクション21などの環境マネジメントシステムに参加します。
16. ヒートアイランド対策にもなる、緑化やレインガーデンの設置に努めます。
17. この取組みを他の区内企業にも勧めます。

千代田区の省エネ・ヒートアイランド対策助成（項目13,16）

- **省エネ**（空調、LED、太陽光、蓄電池）助成制度
- **緑化**の重要性：温暖化対策としても。レインガーデンは豪雨対策にも。助成制度

①省エネルギー改修等助成制度

① 住宅		
LED照明		50%
太陽光システム、蓄電システム、燃料電池システム		
窓断熱システム		20%
高効率ガス給湯器		3万円
② マンション共用部		
LED照明		50%
空調、太陽光システム、蓄電システム		20%
③ 事業所ビル		
LED照明、人感センサ照明		50%
太陽光システム、蓄電システム、窓断熱対策		
空調、エネルギー管理システム、高効率型変圧器		20%

（※ 上記は、対象経費に対する助成率又は金額）

②ヒートアイランド対策助成制度

助成種別		助成金の額	上限額
屋上緑化 敷地内緑化 （菜園）	固定基盤	対象経費 の50%	200万円
	プランター		50万円
壁面緑化			50万円
高反射率塗料・熱交換塗料（屋上・壁面）			50万円
日射調整フィルム・窓用コーティング材			30万円
遮熱性舗装・熱交換塗料（舗装面）			100万円
ドライ型ミスト発生装置（固定式）			100万円
ドライ型ミスト発生装置（レンタル）			10万円
レインガーデン			50万円

千代田エコシステムの導入（項目15）

- **千代田エコシステム**は環境マネジメントシステムであり、業務ビル・オフィスを主な対象として考えられたもの。電気・ガス・化石燃料、紙、水道、廃棄物の使用料を定期的に記録。年に1度認証機関の監査・アドバイスを受ける。
- **主なメリット**
 - 環境意識の向上、CO₂排出量の把握
 - 企業イメージの向上
 - コスト削減、業務の効率化
 - 千代田区商工融資あっせん制度の利子補給、千代田区低炭素建築物助成を受けられる。
 - 入札の際、『千代田区施工能力・地域貢献等審査型総合評価方式』により加点
- 他のマネジメントシステムに比べ安価（導入時料金 6 万円、監査料年 4 万円）。



千代田エコシステム推進協議会

- 環境に積極的な区内企業のプラットフォームを形成し、個人及び事業者の環境配慮行動の推進を後押し。
- 年3回交流会を開催（著名人による講演を含む）
- 交流を通じて、異業種企業間での連携（スタートアップを含む）や、大学生との対話なども実施。

【会員の種類と年会費】

	正会員	賛助会員
企業（資本金1億円以上）	60,000円	30,000円
企業（資本金1億円未満）	20,000円	10,000円
教育機関	60,000円	30,000円
上記以外の団体	10,000円	5,000円
個人	—	1,000円

環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

環境配慮行動宣言の実績

◆環境配慮行動宣言の宣言者数（R7.7.31時点）

環境配慮行動宣言	宣言者数
①ちよエコヒーロー宣言（個人）	250
②ちよエコ未来企業宣言／ちよエコ未来事業者宣言	18

◆周知

日にち	周知イベント
R7.4.24	ちよエコヒーロー宣言キックオフイベント
R7.5.19	ちよエコヒーロー宣言区職員向け説明会
R7.6.26	ちよエコ未来企業宣言／ちよエコ未来事業者宣言キックオフイベント
R7.7.22	ちよエコ未来企業宣言東京商工会議所千代田支部加盟事業者向け説明会

環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

プラスチックごみ削減の推進に関する協定を締結

◆令和7年6月5日、ウォータースタンド株式会社（代表取締役社長：本多 均）および一般社団法人Social Innovation Japan（共同代表：ルイス ロビン 敬・マクティア マリコ）と連携協定を締結。区役所にマイボトル対応型給水機を設置し、無料給水スポット案内アプリ「mymizuアプリ」による給水スポットの周知やペットボトル削減本数を集計して積み上げる「mymizuチャレンジ」などを通して、プラスチックごみ削減の普及啓発を実施。

協定締結の様子



左からウォータースタンド株式会社代表取締役社長：本多 均、千代田区長：樋口 高顕、一般社団法人Social Innovation Japan：ルイス ロビン 敬



設置機器写真

mymizuアプリについて：
一般社団法人Social Innovation Japanの提供する「mymizuアプリ」では、世界中20万箇所のカフェや公共施設など無料で給水できる場所を紹介している。給水記録を付けると、削減できたペットボトルの本数とCO₂の排出量、節約できた金額をトラッキングできます。区役所本庁舎に設置する給水機をmymizuアプリに登録し、周知を行う。



給水で持続可能な街へ



画面イメージ

環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

mymizuチャレンジ結果発表（千代田区・千代田区キャンパスコンソ共催）

◆区と千代田区キャンパスコンソの共催で「mymizuチャレンジ」を開催！

期間

2025年6月5日～2025年7月4日

参加対象

千代田区キャンパスコンソ構成大学（※）に所属する学生・職員

※大妻女子大学・同大学短期大学部、共立女子大学・同短期大学、専修大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学

集計方法

- ・参加者がmymizuアプリにマイボトルへの給水を記録
- ・mymizuアプリで計算されたペットボトル削減量を集計



▶参加者数
キャンパ
スコンソ
全体で
199名！

▶500ml ペットボトル削減量 **1,866本→392m！**

➡東京タワーの高さを約**60m**超えました！

▶CO₂削減量 **196kg！**

➡千代田区役所のガソリン車1台の
18ヵ月分相当の排出量を削減！



環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

千葉県匝瑳（そうさ）市との脱炭素社会の実現に向けた連携協定の締結

◆2025年7月5日、千葉県匝瑳（そうさ）市と千代田区は、「脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー活用等に関する連携協定」を締結。



■具体的な内容

▲連携協定締結の様子



▲ソーラーシェアリングによる農作物栽培の様子



▲ソーラービール・大豆コーヒー

(1) 匝瑳市のソーラーシェアリング（※1）により作られた再生可能エネルギーを、「Eサイクルちよだ（※2）」で区内の需要家に供給。

※1 農地に支柱を立ててその上部に太陽光パネルを設置し、農業をしつつ太陽光発電を行う取組みのこと。

※2 千代田区と連携協定を結んだ地方自治体内で発電された再生可能エネルギーを、千代田区内の事業者や施設が利用できるようにする仕組みのこと。

(2) 匝瑳市で行われている次世代型ソーラーセル実証実験の知見を参考に、区内における実用化を検討。

(3) 12月8日（オーガニックの日）に、区立小・中学校・中等教育学校の給食で、匝瑳市のソーラーシェアリングの下で育てられた有機大豆で作られた味噌を使用することによる環境教育を実施予定。

(4) 有機大豆を使った大豆コーヒー、有機大麦を使ったビールを区役所10階のカフェ「桜日和」で期間限定（令和7年7月7日（月曜日）～10月6日（月曜日））で提供。